



同志社ローム記念館 プロジェクト・レポート

DIR

[ディー・アール]

とびだす！プロジェクト
2018年度プロジェクト始動
メンバー募集！



ア
ジ
ア
各
国
と

韓国の大学と楽曲・ショートムービーを共同制作。

あの長い坂をアシストしてくれる機体を製作!?

メ
テ
イ
ア
コ
ン
テ
ン
ツ
で

興戸の登り坂が楽しくなる?

環境意識向上の魅力を全開発信!

ゲーム開発から販売、体験会開催まで、VRゲームマルチプレイの魅力を全開発信!

人の動きで変化するインタラクティブアート制作。

京田辺市の環境教育や環境活動がWebコンテンツに。

2018年度プロジェクト始動

「自分の力を試したい!」「新しいことにチャレンジしたい!」
そんなアクティブなメンバーを大募集!



数ヶ月チャレンジ! 企業・団体との連携プロジェクト

社会に出るって? 企業の考え方って? 社会人とともに目標を目指す短期集中プロジェクト! この刺激、わくわくを見逃すな!

連携企業・団体

- オムロン株式会社
- パナソニック株式会社
- 木津川市役所
- ローム株式会社

とびだす！ プロジェクト

毎年、それぞれの目標をにかけて1年間取り組んでいるプロジェクト。各チームの活動では、さまざまな方との出会いがある。プロジェクトルームを飛び出し、いろいろな人たちと関わる中で自分たちが何を目標してどんな活動をしているのかを捉えなおし、更に高い成果を求めて努力を重ねる。

2017年度の活動では、どのチームも対外的な動き、発信が際立った。学生の視点、メンバーだけの活動では見えなかったこと、わからなかったことに気づき、多くの学びがあった1年。わくわくしたこと、冷や汗をかいたこと、感激したこと... 飛び出した経験は、また次の一步に活かされる。

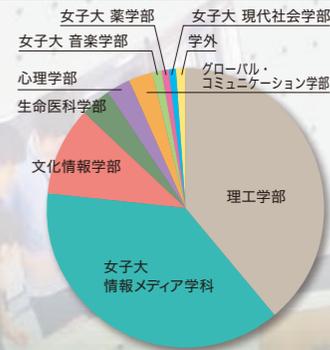
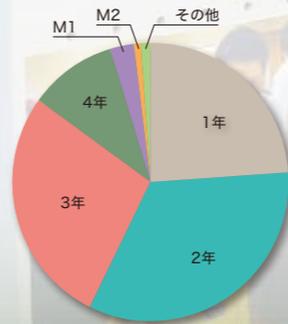
2017年度 プロジェクトメンバー数

学年別

学 年	人 数
1年	26
2年	36
3年	30
4年	11
M1	3
M2	1
その他	1
合計	108

学部別

学 部	人 数
理 工 学 部	42
女子大 情報メディア学	41
文化情報学部	11
生命医科学部	4
心 理 学 部	3
加-IVコミュニケーション部	3
女子大 音楽学部	1
女子大 薬 学 部	1
女子大 現代社会学部	1
学 外	1
	108



DIR Vol.5 発行





2017年度 最終成果報告会・同志社ローム記念館大賞発表会 —2018年3月3日(土)—

本年度の同志社ローム記念館大賞を競うのは4チーム。

どのチームも、前年度までのプロジェクトを経験したメンバーが中心となり活動を展開、その充実ぶりには目を見張るものがあった。提出された成果物や活動資料はもちろん、15分間のプレゼンテーションはどれもすばらしく、大賞を選ぶ審査員を悩ませた。過去13期の中には、大賞プロジェクトが「該当なし」となった年もあるが、今年はどのプロジェクトもレベルが高く、すべてのプロジェクトに受賞したいという声上がる。テーマも活動内容もさまざまなプロジェクトだからこそ、またメンバーの成長を目の当たりにするからこそその評価の難しさを改めて認識し、協議の末、今回は全4チームが受賞する結果となった。

また、学生相互評価賞として、メンバーのWeb投票により各プロジェクトから「LUP(Level Up Project member)賞」と「MVP(Most Valuable Project member)賞」がそれぞれ1名ずつ選ばれた。

今回の報告会には、企業、自治体等から多くの参加があり、はじめて、全参加者によるコイン投票も実施。質問タイムでも活発な質疑応答があり、多様な視点で意見を頂くことのできる良い機会となった。



同志社ローム記念館大賞

プロンティアットVR



- プロジェクトリーダー
竹永真真 (同志社大学理工学部3年)
- プロジェクト責任者
大久保雅史 (同志社大学理工学部教授)
- メンバー数 23名



同志社ローム記念館大賞 優秀賞

アトリエフレームワークス

- プロジェクトリーダー
吉村玲未花 (同志社女子大学学芸学部3年)
- プロジェクト責任者
松谷容作 (同志社女子大学学芸学部助教)
- メンバー数 16名



同志社ローム記念館大賞 特別賞

えこ学@京田辺



- プロジェクトリーダー 高木優哉 (同志社大学理工学部3年)
- プロジェクト責任者 畠山 啓 (同志社女子大学現代社会学部助教)
- 参加団体 京田辺市教育委員会・京田辺市役所 (市民部市民参画課・経済環境部環境課)
- メンバー数 9名

同志社ローム記念館大賞 特別賞

きづのもり商品開発本部



- プロジェクトリーダー 井森萌子 (同志社大学心理学部2年)
- プロジェクト責任者 飛龍志津子 (同志社大学生命医科学部教授)
- 参加団体 木津川市教育委員会・特定非営利活動法人プロデュース・テクノロジー開発センター
- メンバー数 18名

「1年間振り返りクイズ～ロームの記憶は本の中～」

審査を待つ間、スタジオZero企画のイベントが開催された。プロジェクト対抗のクイズで大いに盛り上がり、楽しく1年を振り返った。



2017年度 プロジェクト活動レポート

植物博士が地球をまもる

えこ学@京田辺



プロジェクト名にふさわしい、「京田辺」ならではの環境教育を考えたい、そんな思いでスタートしたプロジェクト。

これまでずっとやりたかった野外での活動に、今回ようやくチャレンジすることができた。いくつも企画を出し、協力して下さる京田辺市役所や、きょうたなべ環境市民パートナーシップの方々と交渉。自然環境についての学び、安全面、イベントとしてのおもしろさなど、さまざまな点を考慮し、植物の多様性を学ぶ「植物博士@京田辺」のイベント開催が決定した。会場はキャンパス内の森、安全に活動するため、大きな蚊と闘いながら何度も入念に調査を行った。限られたエリアだが、生息する植物は30種を超える。カード型の植物図鑑をつくり、「博士」として子ども達をリードするために猛勉強。

そうして迎えたイベント当日、反省点もたくさんあったが、反応は上々、子どもたちの笑顔に囲まれ無事に終えることができた。このイベントの経験は、秋の普賢寺小学校での授業や同志社クローバー祭、環境フェスタinKYOTANABEの出演でも活かすことができた。

「自分のお父さんのように、子どもに植物や自然のことを教えてあげられる大人になりたい。僕たちの活動を通じてそう思う人を増やすことにつながれば。」メンバーのそんなひとことが印象的だった。



トリハダが立つ瞬間

きづのもり商品開発本部



昨年までの活動で、数々の木津川市の魅力を肌で感じてきたメンバー達。市民のみなさんにももっと知ってもらいたい、と商品開発を切り口に活動をスタート。市内の小中学生とともに「木津川市プロデュースプロジェクト」として活動、4つの商品開発に取り組んだが、中でも「ミル弁グランプリ」の軌跡は困難も感動も多かった。

「ミルフィーユ弁当にしよう!」「10店舗競演のグランプリだ!」、企画に対する反応も良好、意気込んで協力店獲得に向け走り出したが、簡単ではなかった。順調に6店舗、しかし、そこから先が進まない。そんな時もらった1本の電話。「こんなに遠い所まで何度も足を運んでくれて…私も一緒に木津川市を盛り上げます!」「やったー!」興奮と感動のあまり鳥肌が立つ。

こうして勢いを取り戻し、ようやく揃った10店舗。PRのための取材に各店舗を訪れるたび、そのすごさに驚かされた。見た目もおいしさも、そして、「木津川市産の野菜」が何種類も入った採算度外視の魅力満載ミル弁に感動、PR冊子の制作にも力が入る。

「それぞれのお店の雰囲気に合わせてページデザインで、読み進めたいくなる」、「店主の人となりやこだわりが伝わり、行きたくなった」、冊子を手にとった方からの反応にまた感動。数々の感動は、まちの魅力を発信したいという思いを共有できたからこそ聞けたお話、伝えたいという思いとともに、ムービーやストーリーでWebサイト「KIZUNOMORI」にも詰まっている。ぜひご覧いただきたい。



「身近さ」への挑戦

アトリエフレームワークス



触って遊べるデジタルアートをより身近なものにしようとスタートした「アトリエフレームワークス」。最初に選んだテーマは「部屋」という空間だった。カーテンを開ける、座る、物に触れる、なにげない動作で部屋が変わる「不思議な部屋」、本格的なデジタルアートの制作経験がない中、はじめてづくしの活動だった。

部屋をどう仕立てるか、どんな動きで、どんなワクワクを生み出すか。部屋の設計と臨場感あるプロジェクション、センサの調整、家具や部屋の組み立て、並行してのポスター作りや広報活動、追われ続ける毎日。直前に出演したNHK「のど自慢」でのPRも奏功し、迎えた当日は京田辺市役所前の会場に行列ができた。作品を十分楽しんでもらうには時間が足りない、うれしくも申し訳ない気持ちがあふれる。デジタルアートの注目度の高さも体感した。

体験者の声をもとに、より多くの方に、「自分の動作で何かが動く」体験を提供するため、みんなで出かけたイベントの演出も参考にしながらつくり上げたのが同志社クローバー祭での「魔法使いアトリーからの挑戦状」。けいはんな情報通信フェアへの出展で機能面での検証も行い、専門家からのアドバイスももらえた。これまでの経験をフルに活かしたイベントでは、たくさんの子どもの笑顔が力になった。

第三の作品「ヒカリノアトリエ」では、体験者と作品がまわりから見えることにこだわる。シチュエーションや世界観、人の気持ちや動き、さまざまな切り口から身近さへの挑戦を重ねてきたメンバー達、その思いは次の世代へ受け継がれていく。



日本のVR業界を盛り上げるのはぼくたちだ！

ボランティアVR



7月、日本ゲーム大賞アマチュア部門全409作品の中、最終審査に進む17作品の一つに「怨挾師(おんきょうじ)」が選ばれた。ゲームを専門に学ぶ学生チームと肩を並べ、VR作品のノミネートは唯一、朗報が館内を駆け巡る。

テーマの「はさむ」を受け、VR技術を活かしながらアクションをいかに気持ち良く楽しいものにするか、コアメンバーを中心に議論を重ねた。4月に新メンバーを迎えみんなで京都のお寺へ。建物の配置や人の動きなど、ゲームのイメージを膨らませる。新メンバーはプログラミング初心者も多く、ゲームエンジンを使うのも初めてとあって勉強会を重ねるが、日本ゲーム大賞の応募締切は6月末に迫る。「何をやっているのかわからない!」そんな状況の中、同時並行の制作。みんなが達成感を味わうことを大事にしたい、というリーダーの思いを受け止め、全員がそれぞれゲームの一部を担い、全員で創り上げた作品だった。

「使うのはプロと同じゲームエンジン、使いこなせば自分たちにもクオリティの高いおもしろいゲームが作れるはず。」みんなでつくる難しさを感じながら、つくりたいものをひとつひとつ形にした。

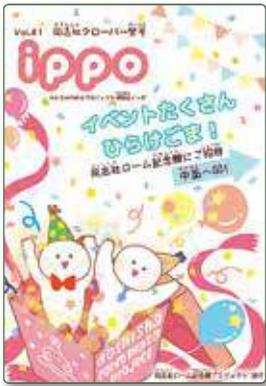
早い段階でゲームを作り上げたことは、実績もあいまって活動に勢いをつけた。秋からは学内外のイベントへ続々出展、1年生がつくったゲームも並ぶ。

体験してくれたプレイヤー、ゲーム制作会社の方々など多くの人との出会いで、メンバーもゲームも育てられた。怨挾師をレベルアップさせた「夜桜ウィザード」は、Steamで公開、販売中だ。



Pick up! 同志社クローバー祭2017

11月4日(土)、5日(日)、京田辺キャンパスの学園祭「同志社クローバー祭」が開催された。ローム記念館プロジェクトは、主な参加者であるファミリー層向けに、それぞれのプロジェクトテーマに関連したイベントを開催した。館全体の演出は、日頃からプロジェクトのサポートを担う「スタジオZero」が担当、館内を賑やかなパーティー会場に装飾し、訪れた人の目を楽しませた。また劇場空間でのイベントの合間には来場者からの質問コーナーやリクエスト曲を流す館内生放送も実施。2日間、どのブースにも多くの方に来場いただき大いに盛り上がった。各プロジェクトの企画内容は以下のとおり。

スタジオZero	スタジオZero	ブロンティアATTVR
ロームdeパーティー	工作教室 (ロボット研究会協力)	VR妖怪祭り
		
来場者をパーティーの招待客と想定し、楽しいオリジナルゲームやクイズ大会を行った。参加者にはオリジナルキャラクターが描かれたステッカーを配布。連日子供たちの人気を集めた。	ロボット研究会の協力のもと、輪ゴム銃、ポトルアート、ハンドスピナーを工作するものづくり教室を開催。またオリジナルキャラクターをかたどった基盤のキーホルダー作りでは、はんだ付けを実演した。	オリジナルVRゲーム「怨狭師」をメインに、金魚すくいなどお祭りをイメージして制作したVRゲームの体験会を行った。メンバーは浴衣などの和装をまとい、ブースを屋台風にするなど雰囲気づくりにもこだわった。
えこ学@京田辺	アトリエフレームワークス	広報誌ippo
植物ラリー @京田辺	魔法使いアトリーからの挑戦状	
		
キャンパス内の木々を巡ってスタンプを集めるスタンプラリーを開催した。各ポイントには葉をかたどったスタンプを設置。全て集めるとかわい押し葉のおしりがもらえるとあり、多くの子どもが参加した。	ブース内の映像が変化する体験型デジタルアート作品を展示。参加者には魔法のステッキが渡され、3種類のミッションが与えられる。時間内にクリアしようと夢中でブース内を駆け回る様子が見られた。	

Pick up! ロームフェア2017

毎年恒例のロームフェアが10月26日(木)、27日(金)の2日間にわたって開催された。パネルによる会社紹介や、昨年から開催されているアイデアコンテスト「ROHM OPEN HACK CHALLENGE 2017」で受賞した作品のコーナー、アジア最大級のIT・エレクトロニクス総合展「CEATEC JAPAN2017」に出展された最新製品など、多種多様な最先端技術を紹介するブースが展示された。実際に手に取りながらローム株式会社の技術に触れることができる機会、開催期間中の来場者は昨年に引き続き4,000人を超え、連日盛況のうちに閉会した。



Event Report

イベント報告 2017年4月～2018年3月

● イベント

同志社ローム記念館プロジェクト説明会「見て知る“プロジェクト”とは」
4月2日(日)～6日(木)
主催：同志社ローム記念館プロジェクト「スタジオZero」

グローバル教育センター 海外フィールドワーク科目説明会
4月7日(金)、10日(月)
主催：同志社大学 国際教養教育院事務室

2017年度春学期TOEFL対策講座説明会
4月12日(水)
主催：同志社大学 国際センター国際課

同志社室内楽団ランチタイムコンサート
4月13日(木)
主催：同志社室内楽団



2017年度春学期TOEIC対策講座説明会
4月14日(金)
主催：同志社大学 国際センター国際課

同志社クローバー祭実行スタッフ 2017年度スタッフ募集説明会
4月17日(月)
主催：同志社クローバー祭実行スタッフ

同志社ローム記念館プロジェクトプロジェクト交流会
4月17日(月)
新メンバー歓迎イベント。活動予定のプレゼンやゲームイベントを通じ交流を図った。
主催：同志社ローム記念館プロジェクト「スタジオZero」

ボランティアフェア～V-NET新歓交流会2017～
4月25日(火)
主催：同志社大学 学生支援センター ボランティア支援室

play_play play(ダンスパフォーマンス)
4月27日(木)
主催：同志社女子大学 現代社会学部 現代こども学科「ガールズメディアバンド」

【木津川市プロデュースプロジェクト】キックオフ・ミーティング
5月14日(日)
木津川市内の小中学生、中学生メンバーと大学生プロジェクトメンバーとの初顔合わせ。木津川市の魅力溢れる商品を開発する。
主催：同志社ローム記念館プロジェクト「きづのもり商品開発本部」

TOEIC® L&R IPテスト対策講座説明会
5月19日(金)
主催：同志社大学 国際センター国際課

Doshisha Spirit Week 2017春
5月31日(水)
主催：同志社大学 キリスト教文化センター



グローバルキャリアフェアTOEFL説明会
6月20日(火)
主催：同志社大学 国際センター国際課

Playful world(ライブパフォーマンス)
6月22日(木)
主催：同志社女子大学 現代社会学部 現代こども学科「eGirls」

JICA国際ボランティアセミナー
6月27日(火)
主催：同志社大学 学生支援センター ボランティア支援室

【木津川市プロデュースプロジェクト】商品企画プレゼンテーション
7月8日(土)
木津川市内の小中学生と大学生チームが事業所や商工会の方などに商品アイデアのプレゼンテーションを行い意見を伺った。
主催：同志社ローム記念館プロジェクト「きづのもり商品開発本部」

企業研修担当者が語るTOEICの重要性
7月10日(月)
主催：同志社大学 国際センター国際課

TOEIC® L&R IPテスト夏休み集中対策講座説明会
7月12日(水)
主催：同志社大学 国際センター国際課

2017年度プロジェクト科目 春学期成果報告会
7月30日(日)
主催：同志社大学 プロジェクト科目検討部会

体験型デジタルアート展示「ようこそ不思議な部屋へ」
10月2日(月)～13日(金)
主催：同志社ローム記念館プロジェクト「アトリエフレームワークス」

同志社女子大学情報メディア学科森ゼミ・有賀ゼミ合同3年次生制作
京都市共同広報プロジェクト動画作品発表会
10月3日(火)
主催：同志社女子大学 情報メディア学科



VR作品制作ワークショップ
10月21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)
主催：同志社ローム記念館プロジェクト「ブロンティアATTVR」

Doshisha Spirit Week 2017秋
10月30日(月)
主催：同志社大学 キリスト教文化センター

ステップアッププログラム「年金セミナー」
11月15日(火)
主催：同志社大学 学生支援センター

同志社女子大学 川田ゼミ・上田ゼミ共同プロデュース
「日韓フレンズライブ」
11月22日(水)
主催：同志社女子大学 情報メディア学科川田ゼミ・現代こども学科上田ゼミ

ステップアッププログラム「スマホ・ケータイ安全教室」
12月5日(火)
主催：同志社大学 学生支援センター

京田辺市×日本政策金融公庫セミナー
「想いをカタチに！クラウドファンディングから学ぶ共感とおカネの集め方」
12月8日(金)
主催：京田辺市・日本政策金融公庫



日本音響学会関西支部
第20回若手研究者交流研究発表会
12月16日(土)
主催：日本音響学会関西支部

2017年度春休み集中TOEIC対策講座説明会
1月12日(金)
主催：同志社大学 国際センター国際課

全学共通教養科目「クリエイティブジャパン科目」説明会
1月18日(木)
主催：同志社大学 全学共通教養教育センター

体験型デジタルアート展示「ヒカリノアトリエ」
1月23日(火)～25日(木)
手足の動作を感じてスクリーンに様々な映像が表現される作品を展示。
主催：同志社ローム記念館プロジェクト「アトリエフレームワークス」



Cross Talk 2017 情報メディア学科3年次生研究ポスターセッション
2月16日(金)
主催：同志社女子大学 情報メディア学科

2017年度同志社女子大学情報メディア学科進級制作展「サンサンサンシャイン」
2月16日(金)～21日(水)
主催：同志社女子大学 情報メディア学科

「ふらっと」プログラム
同志社大学学生支援センターが京田辺キャンパスで実施するプログラム。ランチタイムを中心にコンサートや映画上映、サークル間のコラボレーション企画など多彩なコンテンツを展開している。
5月10日(水)、23日(火)、6月16日(金)、7月5日(水)～6日(木)、21日(金)
9月29日(金)、10月13日(金)、12月1日(金)、20日(水)、1月11日(木)、16日(火)



セタ週間ランチタイムコンサート



紙切り芸&パフォーマンス

企業の視点を知る 短期間のチャレンジプロジェクト

2017年度の新たな試みとしてスタートした短期での企業連携プロジェクト。

社会の課題とは？課題解決にどう立ち向かうのか？

企業で活躍する方との対話や議論、活動を通して、視野を広げ、新たな考え方を知る。

活動を通して、少し、未来の自分のイメージがふくらんだ。

「価値」づくりを考える

4月～11月 オムロン株式会社



何度もアイデア出しとディスカッションを繰り返し、絞り込んだテーマはコミュニケーション。「接客のアルバイトで笑顔が足りないと指摘された」「相手にとって心地よいわずきのタイミングって難しい」そんな学生ならではの課題を解決しようと、オムロンの画像センシング技術を活用したシステムづくりに取り組んだ。

活動では初めてのことばかり、けいはんなイノベーションセンタや草津営業所で若手研究者や技術者の方からもアドバイスを頂き、なんとか体験してもらえるところまでこぎつけた。

アルバイトの面接や上司との会話のシーン映像に合わせた体験者の笑顔とうわずきを測定、点数化し、繰り返してトレーニングすることで「エガオマスター」を目指す「エガ☆マス」は、出展したオムロン社内イベント「おもろまつり」では多くの方の笑顔を引き出した。

企業でのものづくりのプロセスや考え方を学べたのはもちろん、考える事の大切さ、チームで取り組むことの難しさなど、多くの気づきとともに改めて自分自身を見つめなおす機会となった。



「活かす」アイデア、伝える工夫

11月～3月 ローム株式会社



加速度や気圧、地磁気などのセンサを使った開発を助けるツールとして幅広く使われている「センサ評価キット」。このキットを活かして、役立つ何かをつくらうと集まったメンバー。

不可能を可能に！生活をアシスト！非日常をつくる！そんなテーマから2つの企画がスタートした。目の不自由な方にとっての新たな手助けツールを提供したい、と地磁気センサなどを使って不慣れな場所でも使いやすい白杖の実現を目指すチーム、大切な持ち物を家に忘れないよう、気圧センサ、加速度センサの付いた端末が持ち忘れを教えてくれるしくみを考えるチームが取り組んだ。ものづくり経験のある上級生の技術アドバイザーチームの助けを借りて、それぞれの思いを形にしようと悪戦苦闘。迎えた最終成果報告会では、これまでの活動内容とあわせ、『盲導機』の企画案と『忘れ物発光体』のプロトタイプを発表した。プレゼンテーションも、準備したデモもなんとか乗り切り、質問タイムでは多くの方と意見交換をすることができた。『盲導機』のアイデアは良い！「忘れ物防止に使ってみたい」などの声もあり、今回のプロジェクトでの経験を活かし、次のステップへの発展が期待される。



同志社ローム記念館 \ プロジェクトライフ /

年間を通して、さまざまな刺激、出会いがある同志社ローム記念館プロジェクト。
隣り合うプロジェクト同士、時に仲間として、時にライバルとして切磋琢磨できるからおもしろい。
アツいメンバーや卒業生(OP=Old Project-Member)、参加企業・団体の方々との関わりがプロジェクトもメンバーも成長させる。
2017年度プロジェクトライフをご紹介します。

5
25

「ポスターデザイン勉強会」

毎年、全プロジェクトが自分たちの活動を表すポスター制作に取り組む。
勉強会を通して、ポスターデザインをブラッシュアップ。



5
26

「プロジェクトガイダンス・3Dプリンタ講習会」

全メンバーを対象に活動に関するガイダンスを開催。
各プロジェクトの目標や自分の役割を再認識。



7
5

「プロジェクト交流会 ZERO UNO」

スタジオZeroが主催するメンバー対象イベント。
オリジナルルールのUNOで他のプロジェクトメンバーとも交流。



8

22

23

「ステップアップキャンプ」

みんなで1泊、が濃い関係をつくる。
OPやスタジオZeroによるワークショップで楽しくステップアップ!



9

30

「中間報告会」

プロジェクト期間も折り返し。
活動経過や成果を発表し合い、残りの半年の活動をレベルアップ。



「SCoP総会」

プロジェクトの代表者が集まる連絡会議。報告会のあり方を検討や、活動に関する意見交換、情報共有の場。より良いプロジェクトをみんなでつくる。



DIR INFORMATION

2018年度 プロジェクトメンバー募集!

気になるプロジェクトはみつかりましたか?
まずは説明会へいってみよう!

同志社ローム記念館プロジェクトメンバー募集イベント

- 4月2日(月)~6日(金) 11:00~16:30
「ウェルカムプロジェクト説明会」@GFオープンテラス(正面入口付近)
この期間は京田辺・今出川各校地でブースも設置しています。
- 4月9日(月)~20日(金) 16:45~18:45
「ルームにおいてプロジェクト別相談会」@各プロジェクトルーム(2F・3F)
- 4月12日(木) 16:45~19:00
「プロジェクト交流会」@劇場空間



同志社ローム記念館とは・・・

京都に本社を置く半導体メーカー、
ローム株式会社の寄付をもとに2003年に
設立されました。
学生・生徒が集う開放的な学びの空間があり、
1年を通して様々な課題に取り組む、
「同志社ローム記念館プロジェクト」の
拠点としても活用される情報教育施設です。

同志社ローム記念館 オープン15周年!



京田辺キャンパスのランドマーク「同志社ローム記念館」
も今年でオープン15周年。おもしろいこと、考え中・・・

15周年を機に、ますますの発展をめざしてまいります。
「同志社ローム記念館プロジェクト・サポート募金」につ
いて、みなさまからのご支援よろしくお願いたします。

表紙
の
人

いもり もえこ
井森 萌子 さん
同志社大学心理学部
2年生

自分を変えたい、そんな思いで加入したプロジェクト。
今年は先輩からリーダーを引き継ぎ、悩みながらも走った1年だった。
3月10日、受け取った京都府からの感謝状。今年の活動が認められたと
実感、次に踏み出す自信につながった。

編集後記

まさかなカーベットにそっと足を乗せた日から、
まもなく15年。
その頃のメンバーたちとの出会いは強烈な印象を
伴って今も良く覚えている。

はじめての「プロジェクト」、はじめての学生とのコラボレーション。初代のメンバー
たちとは、共に悩み、時に意見を戦わせ、濃い時間を過ごしたものだ。
あれから15年、同志社ローム記念館はいつもの場所に当然のようにあり、「プロジェ
クト」は当たり前になった。毎年、様々な思いを抱いて新たなメンバーがやってきて、
大切な1年を過ごし、新たな歴史が刻まれる。積み重ねた歴史を大切にしながら進
化を重ね、これからも果立っていくメンバー達がいつでも帰ってこれる素敵なた
同志社ローム記念館をつくっていきこう。

(同志社ローム記念館プロジェクトコーディネーター 西村 ひろみ)